



◇ 集中講義 「国家試験直前対策講義」 ◇

1月30日(土)から2月2日(火)の4日間にわたり、篠原リハビリテーション国家試験対策校の篠原豊先生を講師にお迎えし、集中講義が行われました。

3年次に受講した講座の知識をもとに、目の前に迫った国家試験にむけ具体的な問題をスライドで映し、解決する実践的内容となっていました。学生さんたちも最後の追い込みで拍車がかかったかのように必死でレポートをとっていました。

あと数日となった試験まで、モチベーションをあげて頑張ってください。くれぐれも体調管理に気をつけてくださいね。

大学のゴールは卒業式ですが、国家試験合格を胸に社会に飛び出してってください。**頑張れ!!**



◇ 善兵衛ランドへ出前講義に ◇

1月23日(土) 午後1時~3時まで

本学理学療法学専攻 古井 透教授が、全国パーキンソン友の会・大阪支部の泉州地域有志「いずみ会」の集まりに講師として招かれました。

依存心が強い、陰気だと誤解されやすい「パーキンソン病」ですが、リハビリを続けることが非常に大事な治療法です。古井教授が、その講演と、自宅で毎日できる簡単だけれども機能障害特性を理解し工夫した「のびのび体操」を、皆さんに伝授してきました。

参加者は約20名、理学療法学専攻 久利 彩子助教と体操補助のボランティアとして3名の学生さんにお手伝いいただきました。

病気だと思えないくらい元気な方ばかりで、参加した学生さんにコメントをいただきました。

★「どうお声がけしたら良いのか戸惑ってしまい、心配りができなかったが、これからはたくさんの人にとって色々なことを体験し、自分を成長させていきたい。」

★「教科書の上だけの知識ではなく、直接病気の方のナマの声を聞きたかったので参加したが、ADL向上のためにどのような指導が必要なのか、又包括的な地域リハビリを充実させるには今後どのようにしていけば良いのかを考えるきっかけになりました。」など、前向きな声を聞かせていただきました。

次回は2月21日(日) 予定です。奮ってボランティア参加お待ちしております!!



大阪河崎リハビリテーション大学

リハビリテーション学部 リハビリテーション学科

□ 言語聴覚学専攻 □ 作業療法学専攻 □ 理学療法学専攻

〒597-0104 大阪府貝塚市水間 158 番地 TEL:072-446-6700(代) FAX:072-446-6767

ホームページ <http://www.kawasakigakuen.ac.jp/> Eメール nyushi@kawasakigakuen.ac.jp

◇ 「窯」 誕生 ◇



昨年秋より、園芸療法の先生方と学生さんたちが、手間隙かけて作っていた「ピザ窯」が、第二インナーブルガーデンにお目見えしました。釜の上には、愛らしいネコとブタのシーサーが飾られています。是非一度見にきて下さい！！また、火を囲んで手作り陶器が焼ける野焼き床も作ってあります。関連施設の方や市民活動に広く使っていただきたいとの思いからです。

この日は、秦野先生の自家製全粒小麦粉で、和風のピザを焼いてみましたが、出来上がりはグ〜でした。パンも焼けそうですね。野焼き床では、インナーブルガーデン内にある粘土を使って素焼きをしてみました。黒い煤けがグラデュエーションになっ

てミニ縄文土器のようです。自然の中で、炎の様子を見ながら竹を燃やしていると、ゆったりと時間が過ぎて行きます。「THERAPY TIME」って感じでした。

実は、ピザ窯のシーサーと外塗りには物語があります。ある生まれながら全盲の女性が、学生時代の点字教科書が捨てられず、何かの役にたててもらえないかと秦野先生に連絡したのがきっかけでした。そう、ピザ窯の外壁は保温のために点字用紙を解したもののなんです。これには彼女から園芸療法を学んでいる学生さんたちに、メッセージが添えられました。彼女にとって植物がどれだけ「チカラ」になったかが書かれています。点字のお便りをいただいたので、是非読んでみて下さい。



私は、視覚障害（全盲）の女性です。生まれつきなので一度も物や人の顔など見たことがありません。

それから色や光も見ることがないので、家族やまわりの方々から教わったままと記憶にとどめているというのが正直なところです。

皆さんは、リハビリで園芸をなさっているとのこと、感服いたしました。

私は花を触ることは好きですが、園芸は全くしたことがありません。それでも、小学校の時、授業で色々な植物の観察をした時は、とてもわくわくした気分になったのを今でもはっきりと覚えています。

私の場合、葉っぱの付き方を手で判別するのが大変苦手なので、その植物の花の形や大きさを覚える様にしています。それから香りの強い、又は特徴のある香りをもつ植物であれば、香りで記憶することができます。やはり香りをもとに記憶した植物の名前はなかなか忘れませんね。その代表的なものは早春に咲く「シンチョウゲ」、冬から春にかけて比較的長い期間楽しめる「パンジー（特に黄色）」梅雨時に咲く「クチナシ」そして秋の「キンモクセイ」といったところでしょうか。

かなりアツク語ってしまいましたが、皆さんもあまり頑張りすぎないで、ゆったりした気持ちで草木や花たちとお話ししながら園芸を楽しんで下さいね。そして、色を見た経験をおもちの方は、その色のイメージを浮かべながら楽しめるという一層楽しめるのではないかと思います。

◇ 第二回 座位姿勢計測セミナー ◇

2月6日（土）国立リハビリテーションセンター

本学 理学療法専攻4年 酒井麻里さんの卒業研究「電動車椅子ユーザーの姿勢と慢性痛の関連についての一考察」が、臨床応用例部門において、論文指導にあたった古井透教授との共同演題として採択され、国家試験の準備の為参加できなかった酒井さんに替わり教授が口述発表してきました。

同会は国際基準である ISO 16840-1 の策定委員会を中心に構成される研究会で、世界に先駆け日本で研究・開発された「シーティング専門家の経験と勘を一般人にわかりやすく透明化する」複数のツールをいち早く現場での応用に向けようという熱意を持つ経験豊富なセラピスト・技術職の集まりです。

酒井麻里さんの研究が、日本の（そしてそれは、おそらく現時点では世界の）最前線の人達の中で認められたといえるでしょう。おめでとう、酒井麻里さん！！これからも頑張ってください。

